

感震ブレーカーアダプター ヤモリシリーズ

パワーヤモリセット【GV-APSET1】

取付説明書



株式会社 リンテック21

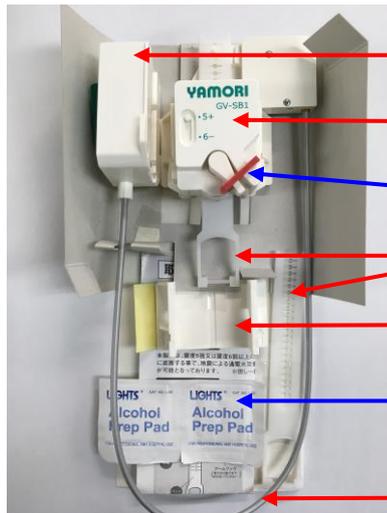
LINTEC21

2024.3.19

<外装パッケージ>



<構成>



- パワーヤモリ本体
- ヤモリ本体
- アームフック
- バンド×2
- パワーヤモリ台座
- アルコールパッド×2
- ワイヤー

● 注意事項（必ずお読みください）

- (1) **アームフック（赤いフック）** は取り付け完了まで外さないで下さい。
外してしまうと、正確な取り付け位置がとれません。
- (2) 取り付け位置確定後、添付のアルコールパッドで分電盤の接着面を清掃して下さい。
アルコールパッド使用後は、必ず乾燥（2～3分程度）させて下さい。
- (3) パソコン、録画機器、炊飯器等の電機製品の電源が切れている事を確認して下さい。
- (4) 昼間の明るい時間帯に作業して下さい。（テスト時にブレーカーを遮断します。）
- (5) ホームセキュリティにご加入の場合、停電になる旨を事前に警備会社へご連絡下さい。
（事前通知しない場合、緊急出動がかり別途費用が発生する場合があります。）
- (6) ご自宅内に人工呼吸器などの生命維持に関わる医療器具が設置されている場合は、
医療器具補助電源が確実に動作することをご確認の上、作業に取り掛かって下さい。

● よくある質問

◇ **セットアームがセット場所に固定できない。レバーがかからない。**

ヤモリは垂直な状態でなければセットアームが固定できない構造となっております。
水平、斜め、逆さまの状態ではレバーがかかりませんが、不良や故障ではありません。

◇ **ヤモリはどこに付けるの？**

漏電ブレーカーまたは、**アンペアブレーカー**へ取り付けいただきます。
（将来的にアンペアブレーカー撤去の可能性があり、漏電ブレーカーへの取り付けをお勧めしております。どちらでも効果は同じです。） **※5ページの画像参照**

【備える】

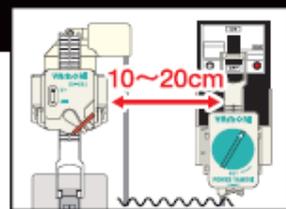
大地震により感震ブレーカーが作動すると、家中の電源が遮断され電気も消えます。
また、台風・事故などその他の災害でも停電は発生します。
常日頃からそのような災害を想定し、懐中電灯や災害用常備灯などの照明器具、
電池式ラジオなどの防災用品を併せてご準備いただく事をお願い申し上げます。

● 取り付け手順

①設置位置の確認

1 標準的な設置位置

- ヤモリ本体とパワーヤモリ本体のケーブル間隔は10～20cm程度として下さい。



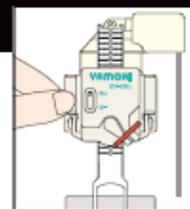
※ パワーヤモリ本体をブレーカースイッチへ合わせ、ヤモリ本体を分電盤の左横へ設置するための位置合わせを行います。

※ 取り付け場所は、漏電ブレーカーもしくはアンペアブレーカーの上下です。

②ヤモリ本体（台座）の壁面接着固定

2 ヤモリ台座の壁面接着固定

- パワーヤモリ本体とヤモリ台座の取り付け位置を決め、(④標準的な設定位置参照) ヤモリ台座の壁をアルコールパッドで清掃し、良く乾かす。ヤモリ台座の小さい剥離紙を剥がし、壁に垂直に仮固定します。外に出ている剥離紙を引き抜きヤモリ本体を壁に押し付け固定します。



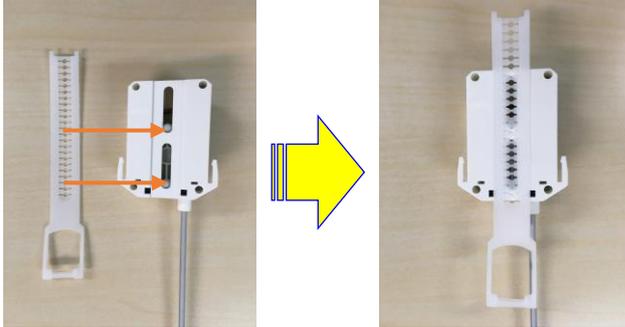
※ 接着前、付属アルコールパッドを使用し接着場所のクロスを清掃して下さい。清掃後、2～3分完全に乾かして下さい。

※ 和紙素材の壁紙、布クロス張り、土壁・砂壁・モルタル塗の壁等は接着できません。

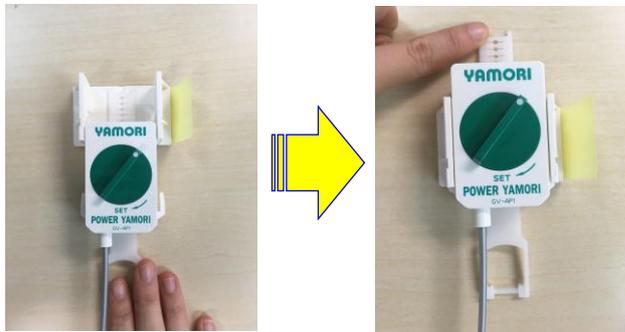
③パワーヤモリ本体の組立

【パターンA】（ブレーカースイッチの上部に設置する場合）

※ パワーヤモリ本体の裏突起2か所に、位置を調節しバンドをはめ込みます。

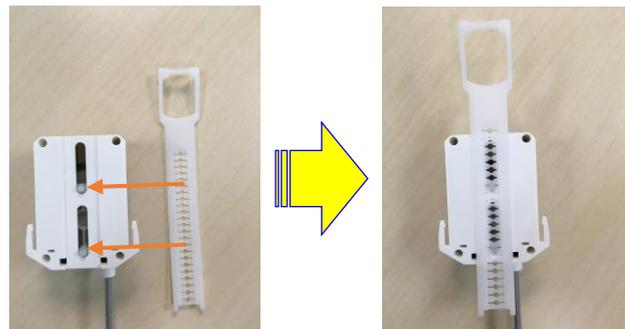


※ パワーヤモリ用台座に本体をセットします。

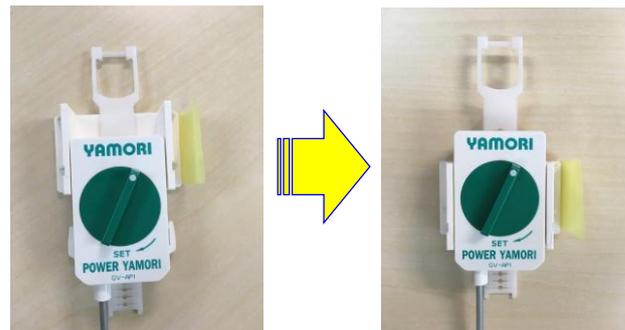


【パターンB】（ブレーカースイッチの下部に設置する場合）

※ パワーヤモリ本体の裏突起2か所に、位置を調節しバンドをはめ込みます。



※ パワーヤモリ用台座に本体をセットします。



《台座組み立て時の注意》

●スリットの位置



台座にはスリット(ギザギザ)が入っています。



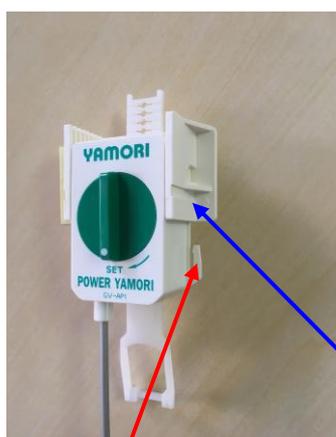
パワーメモリを下からスリットに沿って差し込みます。



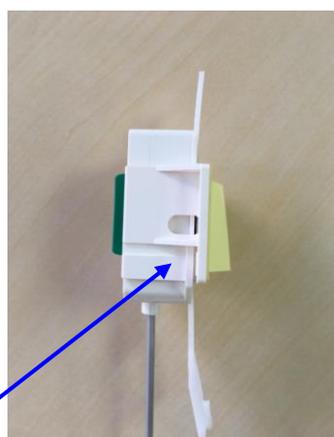
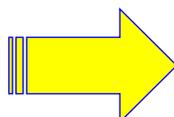
カチッとハマればOK。

※ 台座のスリットは接着面から2番目のラインが標準ですが、取り付け位置に合わせて自由に調整して下さい。

●台座の向き



このフックを



このスリットにはめ込んでください。

※ 台座は上下があります。上下逆であれば入らないようになっています。

④パワーヤモリ本体をブレーカーに接着

4 パワーヤモリ本体のブレーカーへの接着固定

●パワーヤモリ本体のつまみをセットした状態でバンドをブレーカーのレバーに引っ掛けた状態でパワーヤモリの台座をヤモリ台座と同じ様に接着固定します。
左図は、ブレーカー上にパワーヤモリを設置するスペースが無いいためヤモリ補助板(別売)をあらかじめセットしています。



※接着前にパワーヤモリ本体のダイヤルをセットして下さい。



⑤アームフックの取り外し

5 ヤモリ本体のアームフックの取り外し

●右手でセットアームの先端を軽くつまみ、左手でアームフックを手前方向に引いて外します。右手でセットアームを保持したまま、更に強くつまみセットします。



※ セットアームをつまみながら赤いフックを外して下さい。
セットアームはカチッと音が鳴るまでセット側(右方向)へ押し込んで下さい。

⑥ パワーヤモリ本体のダイヤルとヤモリのセットアームをセット

6 パワーヤモリ本体のダイヤルセットとヤモリのセットアームをセットする

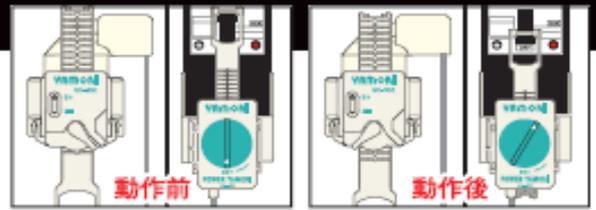
まずパワーヤモリ本体のダイヤルを回してセットし、その後ヤモリ本体のセットアームをつまんでロックするまでセットします。(既に両方ともセットされている場合は不要です)



⑦ 動作テスト及び再セット

7 動作テスト

●ヤモリのテストスイッチを押し、ブレーカーのレバーがOFFになる事を確認します。問題がなければ再セットします。ブレーカーレバーがOFFにならない時は8項を参考にバンド位置を変えます。



8 パワーヤモリ本体のバンド位置変更

パワーヤモリ本体を台座を取り外した後、バンドを上方向に引っ張って外しバンドの穴位置をずらして押し込みます。*ヤモリ本体はヤモリの取説を参照ください



※ 動作テストを行ってブレーカースイッチがきちんと遮断されたらOKです。再度、パワーヤモリ本体のダイヤルとヤモリのセットアームをセットし、(6項参照)最後にブレーカースイッチを戻してください。

● パワーヤモリセット取り付け例

例① ブレーカースイッチ上
(ヤモリは側面の壁に取り付け)



例② ブレーカースイッチ下
(自作の金属補助板にて取り付け)



例③ ブレーカースイッチ下 (専用補助板にて取り付け)



● パワーヤモリを必要とするブレーカー

例① スイッチが堅い



例② スイッチストロークが長い



例③ アンペアが大きい (75A、90A、100A等)



● 取付不可（困難）ブレーカー

例① 開閉器タイプ



例② 金属製蓋観音開き分電盤



● パワーヤモリ復旧方法①

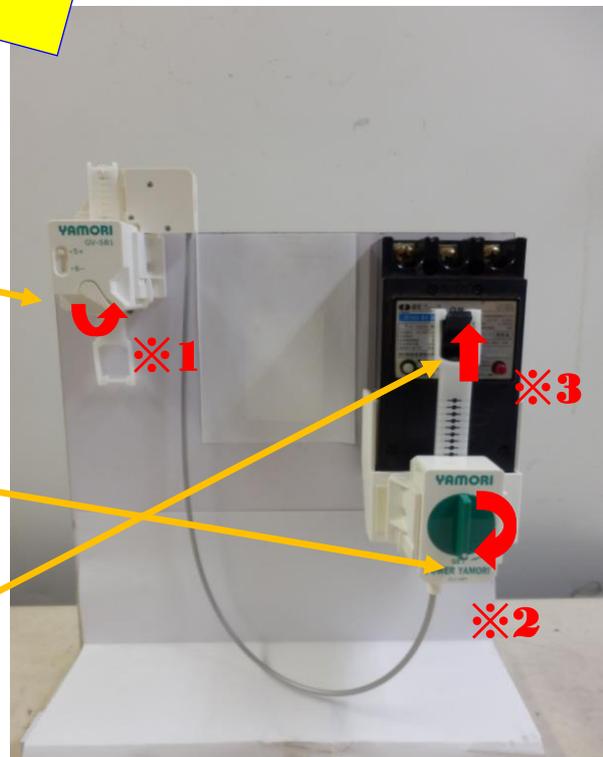
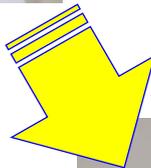


※ セットレバーが左側になっている

※ ブレーカースイッチ OFF

※ 回転ダイヤルの白い○が上を向いている

地震により作動した状態



①セットレバーを右側に捻る

②回転ダイヤルを、カチッと音がするまで右に回し白い○が下に来るよう合わせる。

③最後に、ブレーカースイッチを上（ONの状態）に戻す

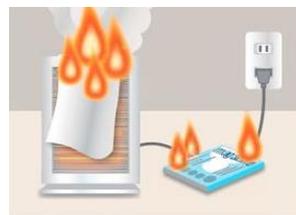
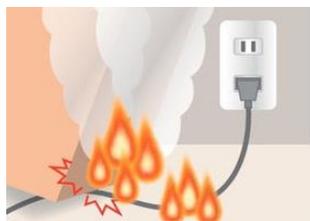
レバーを戻し復旧した状態

● パワーヤモリ復旧方法②

感震ブレーカー作動後の復旧方法(注意

- 建物^{点)}が全壊や半壊となった場合には復旧しないで下さい。
- 通話可能な電話と使用可能な消火器を用意して下さい。
- 復旧作業は明るい時間帯になるべく2名以上で行って下さい。
- 電化製品のコンセントを全て抜いて下さい。

チェックをしないとこんな事に



感震ブレーカー作動後の復旧方法(手順)

- 1) 最初に、分電盤の**子(分岐)ブレーカー**を**全てOFF**にします。
- 2) 【ヤモリ】のレバーをロックされるまで右側に捻り**ON**にします。 ※1
- 3) 【パワーヤモリ】のダイヤルを右側に捻り**ON**にします。 ※2
- 4) 【ヤモリ】がセットされている**ブレーカー**を**ON**にします。 ※3
- 5) 安全を確認しながら子(分岐)ブレーカーを1つずつ**ON**にします。

(※1 ※2 ※3 は11ページ参照)

★漏電ブレーカーは、ONの状態に戻す時にリセットしないとスイッチが戻らないタイプがありますのでご注意ください。(リセットとは、リセットボタンを押しながら、又は一度押してから戻す。スイッチを一旦下げきってから戻すなどの方法があります)